



Japan Region

International Training in Communication

Volume 28

February 2
2010

目次

Table of Contents

Vol.28 No.2
February 2010

1	今期のテーマ	2009-2010 Themes
2	日本リージョン会長メッセージ	The President's Message
3	第28回日本リージョン年次大会案内	Invitation to the 28th Japan Region Annual Conference
4	大会プログラム予定表	Program Plan
5	大会プログラム案内	Guide to Program
6	TPP およびワークショップ一覧表	TPP & Workshops
7	教育セッション一覧表	Educational Sessions
8	リージョン大会での審議に向けて	At the Business Session
10	大会申し込み要領	Registration
11	観光案内	Information for Sightseeing
12	大会準備委員会名簿	Annual Conference Committee
13	Brush Up リーダーシップについての考察	A Commentary on Leadership
15	祝チャーター 眉山クラブ (カウンスル No. 5)	Congratulations ! Bizan Club
16	国際より	From the International
18	羅針盤 アーネスティン・ホワイト女史の志	Compass - Footsteps of Ernestine White
20	特別寄稿 ほんとうの日本「山陰」	Real Japan "San-in"
24	変更と訂正および編集者からのメッセージ	Corrections & Message from Editor
	ITC 宣誓& 声明文	ITC Pledge & Mission Statement of Japan Region

ITC 日本リージョン 第28期テーマ
2009 - 2010

Japan Region Theme

実践 - 知識を叡智に

Practice - Knowledge into Wisdom

長期目標：組織運営の再考
会員の支援と増強

Long term: Reconsideration of the Organization Management
Support and Reinforcement of the Membership

短期目標：カウンスル = PREM 活動の促進
クラブ = プログラム・教育の充実

Short term: Council... Promotion of PREM activities
Club ... Enrichment of Program - Education



目標達成に向けて

日本リージョン第 28 期会長 岡崎祥子

早春の候 会員の皆様にはお健やかに後半の活動にお励みのことと存じます。今期の役員会も新年早々の会合に始まり、来る年次大会に向けて心を一つにし、今期の目標達成に邁進することを申し合わせました。

さて日本リージョン第 28 期の活動もほぼ半ばに差し掛かりました。この半年を翻って考えます時に、日本リージョンの当面の大きな課題は、プログラム・教育の充実と PREM 活動の促進に尽きるという確信を持ちました。昨年は眉山クラブの誕生に励まされ、ITC の組織においても一縷の光明を見たようで心が和みました。これら二本の柱は正に国際の活動とも直結する時宜を得た目標であり、また課題であることを実感致しました。

まだ道半ばではありますが、今期リージョン役員会はこれらの課題に対峙し、真摯に取り組んでいます。そしてこれらの活動を通して、ITC の次世代を担う若いリーダーがスクスクと育って欲しいものと熱い期待に胸が膨らむのです。

皆さま、リージョン・カウンスル・クラブの全レベルで力を合わせ叡智に溢れる日本リージョンを作り上げてまいりましょう。

Toward the goal

28th Japan Region President: Sachiko Okazaki

Early spring has come.

I suppose that you, all the members, must be steadily engaging yourselves in the activities of the last half of this term after greeting the new year with renewed spirit. Hardly into the new year, the board of directors of this term gathered and reached the agreement that we would put our mind together to achieve this term's goal.

By the way, we, Japan region, are just half way through the 28th term. Reflecting the past half term, now I am convinced that our pressing tasks are the fulfillment of the educational program and the promotion of PREM activities; I was deeply encouraged by the formation of Bizan club and was very happy to find it to be a beam of hope. These tasks can be said to be the main pillars of our activities, which are directly connected to the international activities.

We are only half way through the term, but we are sincerely tackling these tasks. And from bottom of our heart we hope that the young leaders, who bear the responsibility of the new generation, will be trained by tackling these tasks.

Now is the time for the Region, the councils and the clubs to make effort to fill Japan Region with wisdom.

第28回日本リージョン年次大会ご案内

Invitation to the 28th Japan Region Annual Conference

大会テーマ
叡智をもとめて
Acquire Wisdom

開催日：2010年5月25日(火)～26日(水)
場 所：米子コンベンションセンター(メイン会場)
大山ロイヤルホテル(晩餐会会場)

大会コーディネーター 山本 陽子
副・コーディネーター 野津 寛美



第28回日本リージョン年次大会は山陰の地、米子市の「米子コンベンションセンター」において開催されます。

大会準備委員会は、ホストカウンスルのNo.7や近隣のカウンスルの方々と協力し、工夫しながら皆さまをお迎えする準備に励んでいます。

リージョンでは、大会テーマ「叡智をもとめて」を掲げ一丸となって魅力あふれる大会を遂行するために鋭意努力しておられます。私たちはその大会がスムーズに運びますよう諸事万端、熱意をもって進めています。

また大会の前後には、神話の国出雲、松江、大山、海に湯の沸く皆生温泉、鳥取砂丘など、山陰の観光も十分に満喫していただきたいものと思っています。

大会準備委員会一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

We are pleased to announce that the 28th Japan Region Annual Conference will be held at "the Yonago Convention Centre" in the city of Yonago in the San-in area.

The Preparatory Committee has, in cooperation with the Council No. 7 as a host council and neighbouring councils, worked hard to welcome you.

The Region has strived to make this conference conducted attractively with setting the theme of this Conference; "Acquire Wisdom". We have been vigorously arranging so that this conference will be operated smoothly.

Before and after the Conference, we will very much hope that you will take tours out to IZUMO as a mythical land, MATSUE, DAISEN, KAIKE ONSEN as a spa from the sea, and TOTTORI SAKYU (Tottori sand dune)

We, all of the Preparatory Committee members, cordially look forward to seeing you then.

第28回日本リージョン大会

第28回日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 28th Annual Conference Program Plan

米子コンベンションセンター

Yonago Convention Center

5月25日(火) May 25th (Tues.)

08:30 ~ 09:00	登録受付	Registration
09:00 ~ 09:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00 ~ 11:40	議事会議・選挙(派遣員のみ) 会員公開	Business & Election
11:10 ~ 12:40	登録受付	Registration
11:40 ~ 12:40	昼食	Lunch
12:40 ~ 13:40	入場行進、開会式	Opening Ceremony
13:55 ~ 15:15	TPP(英) ワークショップ(会員)(4部門)	Training Power Pack Workshop
15:30 ~ 17:00	講演(一般公開)	Lecture
役員就任式・晩餐会 大山口イダルホテル		
18:30 ~ 19:10	役員就任式	Installation
19:10 ~ 20:30	晩餐	Banquet
20:30 ~ 21:00	エンターテインメント	Entertainment
	終了	Adjournment

コンベンションセンターから大山口イダルホテルへはバスで移動。帰りも宿泊ホテルまでバスで移動。

5月26日(水) May 26th (Wed.)

08:30 ~ 09:00	登録受付	Registration
09:00 ~ 09:30	議事会議(派遣員のみ) 会員公開	Business
09:10 ~ 09:40	登録受付	Registration
09:40 ~ 09:50	全体会	
10:00 ~ 11:30	教育セッション(外部講師)5部門	Training Sessions(5part)
11:30 ~ 12:30	昼食	Lunch
12:30 ~ 15:00	スピーチコンテスト(日・英並行)	Speech Contest
15:10 ~ 16:00	表彰・報告・案内	Awards・Reports
16:00	閉会	Adjournment
17:00 ~ 18:30	評価 RMT(リージョン運営研修会)	Evaluation Region Management Training

26日の議事会議は、審議未予事項がある場合のみ行います。

プログラム・教育委員長 秦野順子

今期のリージョンテーマ「実践—知識を叡智に」のもとに、全レベルが計画・立案に対し真摯に実践に取り組んでいます。

第28回年次大会プログラムではたくさんの学びの場、実践の場を設けています。一日目は、脳科学者 茂木健一郎氏による特別講演を一般公開で、また国際役員による TPP (英)、会員によるワークショップを、二日目は外部講師による教育セッションとスピーチコンテスト (日・英) を開催します。

また、今期大会の大きな特色として、IT 機器を利用したビジネス、ネット配信される大会の様子は、出席した方だけではなく、やむを得ず欠席なさる方にも雰囲気を感じていただけるものと思います。プログラム・教育委員会一同、熱い心で皆さまのプログラムへの参加をお待ちしています。

特別講演 (一般公開)

「前向きに生きる心の持ち方」

講師：茂木健一郎氏

2010年5月25日 (火) pm 3:30 ~ 5:00



《プロフィール》

脳科学者。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、東京工業大学大学院連携教授 (脳科学、認知科学)、東京芸術大学非常勤講師 (美術解剖学)。その他、東京大学、大阪大学、早稲田大学、聖心女子大学などの非常勤講師もつとめる。

1962年10月20日東京生まれ。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。主な著書に『脳とクオリア』(日経サイエンス社)、『生きて死ぬ私』(徳間書店)『心を生みだす脳のシステム』(NHK出版)『脳と仮想』で、第四回小林秀雄賞を受賞。2006年1月より、NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』キャスター。

TPP およびワークショップ一覧表

5月25日（火）13：55～15：15

「TPP」(英)	①国際副会長D iv IV Sue Martin ②英語のみにて行います。日本語は7月1日のCMTで行われます。
(Training Power Pack)	

①担当カウンスル ②内容

A 「シーン ボイスガイド」 (定員 30 名)	①カウンスル No.1 ②シーンボイスガイドをご存知ですか？映画に副音声をつける、この素晴らしいボランティア活動をあなたも体験してみませんか。目の見えない人に、自分が見ている事の中から何を伝えますか？何が本当に必要な情報ですか？映画「おくりびと」の1シーンの情景、所作や表情などを、あなたならどんな言葉で解りやすく説明しますか？ボイスガイドの実践で相手に合わせて伝えることの大切さを実感いたしましょう。
B 「評価コンテスト」	①カウンスル No.4 ②グループに分かれワークショップ形式で、即席スピーチに対する評価をまとめて発表します。このワークショップでは評価力を磨くだけでなく、他クラブからの参加者とのコミュニケーション力も向上させることができます。グループでコンテストに挑戦して評価力をブラッシュアップしましょう。
C 「コンセンサス ゲーム」 (定員 40 名)	①カウンスル No.6 ②コンセンサス（全員の合意）に至る過程で起こるさまざまな事柄（メンバーの参加の仕方・コミュニケーションやリーダーシップ・グループの雰囲気など）、グループメンバー全員が‘合意’することの難しさや大切さなどを体験的に学びます。さまざまな意見がある中で、納得して一つの結論に至るのは容易ではありませんが、この体験により他者だけでなく自分への理解が深まります。 一歩進んだ開放的なコミュニケーションを味わえるプログラムです
D 「即興スピーチ コンテスト」	①カウンスル No.2、No.3、No.5、No.7、No.8 ②5カウンスル No.2、3、5、7、8の精鋭の代表会員が一同に会し出場して頂きます。準備、内容は従来のスピーチコンテストと同じですが、違う点は論題が3週間前ではなく、5分前にしか与えられないことです。今湧き出た言葉の表現は、みずみずしく勢いがあり聴衆の心を打つことでしょう。各カウンスルより選び抜かれた役割担当者の一致協力態勢によって展開される醍醐味は、まさしく ITC のコミュニケーションの真髄が発揮されることと確信します。多くの応援団のご出席を期待しています。

* TPP かワークショップ A～D の 5 部門のうち受けたい部門の第 1, 第 2 希望をリージョンメールの大会登録申込書に申し込み要領に従って申し込んで下さい。
 ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

教育セッション一覧表

5月26日(水) 10:00～11:30

①プロフィール ②内容

<p>A 講演</p> <p>「古代の山陰は輝いていた」</p>  <p>ふじおか だいせつ 藤岡 大拙氏</p>	<p>① 歴史学者、荒神谷博物館館長、NPO 法人出雲学研究所理事長</p> <p>② 昭和 59 (1994) 年の夏、荒神谷 (鳥根県斐川町) から、358 本という驚異的数量の銅剣が発見され、翌 60 年夏には、同じ地域内から、今度は銅矛 16 本、銅鐸 6 口が発見され、全国的な反響をよんだ。誰が埋めたか、なぜ埋めたか等々、多くの謎を秘めているものの、今から 2 千年前の弥生中期に、荒神谷あたりに強大な王権が存在し、豊かな青銅器文化を作り出していたことは確かであろう。それから 12 年後の平成 8 年、荒神谷遺跡の東南 3.3 キロの地点、加茂町岩倉 (雲南市) の山裾から、39 口という大量の銅鐸が出土した。これとほぼ同じころ、青谷上寺地 (あおやかみじち) 遺跡 (鳥取市) から、弥生の諸道具のほか、大量の骨群が出土、妻木晩田 (むきばんだ) 遺跡 (米子市・鳥取県大山町) からは、弥生の大規模集落跡が発見され、田和山遺跡 (松江市) からは、三重の環濠をもつ弥生の軍事施設が発見された。いずれも国指定の史跡となり、遺物は国宝や重文に指定された。かくて、弥生時代の山陰は、最も発展した地域と見なされるようになった。そして、その中心が出雲だったのである。</p>
<p>B レクチャーフォーラム</p> <p>「女性の健康とホルモン」 さらに輝いて美しく心豊かに生きるために</p>  <p>はらだ たくす 原田 省氏</p>	<p>① 鳥取大学医学部 産科婦人科学 教授</p> <p>② “女性の体はエストロゲンに支配されています” 女性ホルモンであるエストロゲンは、女性が美しく成熟し、母となり、健康に年を重ねるうえで最も大切なホルモンです。</p> <p>卵巣から作られるエストロゲンは子宮に働き月経を起こします。妊娠・出産が可能な性成熟期は、ホルモンバランスが安定している時期です。一方、この時期にエストロゲンによって刺激される子宮筋腫、子宮内膜症、乳がんなどの病気に悩まされることもあります。更年期は、ホルモンバランスが崩れ体調不良を起こしやすい時期です。閉経後は、エストロゲンによる病気は減りますが、ホルモン欠乏障害がみられます。</p> <p>女性の美と若さに関するエストロゲンの働きについて一緒に考えてみましょう。たくさんの図と写真を使ってわかりやすくお話しします。</p>
<p>C ワークショップ</p> <p>「ゆたかな話し方のために」 ～心と体の解放～</p>  <p>しまむら みつこ 藤村 三枝子氏</p>	<p>① ラ・ベジブル主宰、俳優、朗読、NPO 日本朗読文化協会の講師</p> <p>② 素顔のあなたに出会ってみませんか。</p> <p>コミュニケーションは情報を伝えるだけでなく、感情や気持ちを他者と分かち合い共有することでもあります。</p> <p>演劇的手法を使いながら、遊び (ゲーム) の中で自己発見と他者理解を深めていきましょう。簡単なゲームを使いながら、何かに夢中になること、集中することを通して、五感を使ってあなたの中に眠っていた、ゆたかな感性、感覚を再発見しましょう。</p> <p>☆ じゃんけんって奥が深い! ☆ 何の音? ☆ 見て聞く言葉</p> <p>☆ エアギターだけじゃない、見えない物が見える (定員 50 名)</p>
<p>D ワークショップ</p> <p>「事実の中からチャンスを見出す」 マーケティングによる問題解決ステップとその実例</p>  <p>たかはま こうた 高濱 黄太氏</p>	<p>① 元リクルート人材開発トレーナー、現尼崎市議会議員</p> <p>② 1929 年の世界恐慌。この未曾有の危機の中から、マーケティングとマネジメントは、実用的な知識として生まれ、発展してきました。「事実に基づき、事実を冷静に検討し、手がかりを見いだす。そして、利用できる手段を効果的に組み合わせ、課題解決につなげる」厳しい今の時代だからこそ、マーケティングから学ぶことは多いのではないのでしょうか。このプログラムでは、1) マーケティングの要点を学習する 2) 製品開発の実例からマーケティングの課題解決プロセスを学ぶ 3) 簡単な題材を元に、事実の分析方法について共に考えることで、マーケティングを体感していただけます。「チャンスは与えられるものではなく、私たちを取り巻く世界にある事実の中から、わたしたち自身が見いだすもの」その手法としてのマーケティングを共に楽しく学びましょう。</p>
<p>E 講演</p> <p>「渡り鳥の保護と国際交流の重要性」 ～鳥もつ縁から～</p>  <p>かみやま かなめ 神谷 要氏</p>	<p>① 米子水鳥公園 指導員</p> <p>② 冬になると日本へやってくる渡り鳥たちはいったいどこからやってくるのでしょうか? 世界の国々は渡り鳥によってつながっており、その保護には、国際的な協力による調査や保護活動が不可欠です。米子水鳥公園は、コハクチョウなどの渡り鳥に標識や発信機を取り付ける調査を行ってきました。これらの調査において、公園で標識した鳥がよその地域で発見されたり、公園へよその地域で標識された鳥が飛んできたりすることがあります。近年では、このような成果は電子メールによって一瞬で共有することができ、それまで関連のなかった地域や海外の研究者とのつながりが生まれています。また、そのような成果は、渡り鳥が利用する各湿地の保全に大きな力を生み出してくれているのです。</p> <p>今回は、米子水鳥公園における渡り鳥の保護活動とその研究成果をご紹介します。そこから発展した国際交流の広がりを報告したいと思います。</p>

*教育セッションは A～E の 5 部門のうち受けたい部門の第 1, 第 2 希望をリージョンメールの大会登録申込書に、申し込み要領に従って申し込んで下さい。

ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

リージョン大会での審議に向けて

ITC 日本リージョン大会、何がユニークかと言えば、やっぱり審議でしょう。
このビジネスでの審議について、このページで少し準備をして参加しましょう。
より興味深い、社会に広がる学びの場となります。

	関連事項
<p>＜リージョン大会に向けての準備＞</p> <p>※クラブでの審議 リージョン会則・決議委員会*が受領した決議案とリージョン会則と常規の修正案は、リージョン大会 60 日前までにクラブに送付されます。それらをクラブで審議して、派遣員にクラブの意向を持参してもらいましょう。</p> <p>※リージョン大会への派遣員の準備 派遣員*は、クラブでの審議結果や意見を携えてリージョン大会に出席します。しかし大会での審議では、クラブでは考えられなかったより深い内容を含む場合があります。派遣員は大会での討議内容をも考慮して採決に挑みます。派遣員は、大会での審議を元に、自分の考えで投票することが許されています。</p>	<p>＜リージョン会則 P8＞ 9.2.4. 会則決議：会則・決議委員会は 9.2.4.a. クラブとカウンスル、及びリージョン役員会に決議案と修正案提出を要請し、かつリージョン大会 120 日前までに受領する。 9.2.4.b. 同様決議案と修正案を統合する。 9.2.4.c. 大会 60 日前までにリージョン役員会と所属クラブに決議案と修正案を提出する。</p> <p>＜リージョン会則 P7＞ 7.3.5 派遣員、又は派遣員欠席の場合の公式代理人に限り、動議を出したり派遣員席から指名する権利を有する。しかし、会員はだれでも発言してよい。</p> <p>※リージョン会則のダウンロード 現行の日本リージョン会則は、リージョンのホームページからダウンロードできます。修正案とともに、ぜひリージョン会則全体を読んでご出席ください。</p>
<p>＜派遣員への説明（デリゲート・ブリーフィング）＞</p> <p>※派遣員への説明の時間には、役員や委員長、大会準備委員会が紹介され、会議運営上必要な手続きや、審議のやり方などの説明を受けます。</p> <p>※このブリーフィングでは大会冊子の中にある大会規則*が読み上げられ、議会法規役員が説明します。この中にはリージョン大会のための審議の規則が書かれています。この大会規則は、リージョン大会のビジネスの冒頭で、大会プログラムと共に採択されます。</p> <p>※修正案に修正や委員会に付託等の動議の提出される場合には、それを動議提出用紙 Motion Form *に記入して、ブリーフィングもしくは会場で提出する必要があります。会長・書記・会則・決議委員長・議会法規役員用のコピーが必要です。動議にセコンドがあれば、会長はその用紙を見ながら復唱します。</p>	<p>※派遣員資格確認 派遣員は、クラブ会長と自分がサインした信任状の半分を持って資格確認のデスクで決められた時間までに受付をします。そして派遣員のたすきを受け取ります。</p> <p>＜日本リージョン大会の大会規則の一部＞ ○発言者及び通訳の持ち時間は 2 分 ○一つの問題に対する討議の時間は 10 分 ○発言したい人全部が発言の機会をもつまでは、だれも 2 度目の発言をすることはできない。 ○これらの規則は、派遣員の 3 分の 2 の賛成によって修正し、又は一時停止することができる。</p> <p>※動議提出用紙 修正等を希望する場合、動議提出用紙をあらかじめブリーフィングで渡しておくことも良いことですが、そうしてもその動議が会議に提出されたことにはなりません。 派遣員がリージョン大会のビジネスの際に、修正等の動議をマイクの前で提出し（まだならその際、提出用紙を渡し）、かつ議長がそれを読みあげて始めて、会議に提出されたこととなります。</p>

	関連事項
<p><リージョン大会において></p> <p>※大会のビジネスのスタートに当たり、定足数*が確認されます。リージョン大会の定足数は、日本リージョン会則に記載されていますが、クラブ数の過半数です。もし二日目に派遣員が欠席のクラブが出たとしても、両日の定足数*は変わらないのがお分かりですね。</p> <p>※指名委員*の選出について 指名委員は、すべてのカウンスルから指名された候補者の中から3名連記で、上位3名が選出されます。</p> <p>※役員選挙*について 役員選挙は、「役職1名に対し候補者が1名しかいない場合は、議長はその候補者が選出されたことを宣言することができる」とリージョン会則に記載されています。</p>	<p><リージョン会則 P7></p> <p>7.5. 定足数：このリージョンの定足数は所属する有資格クラブの過半数により成立する。議事を郵便で行う場合の定足数は所属する有資格クラブの2/3で成立する。</p> <p><リージョン会則 P3></p> <p>5.3. 指名：指名委員会は</p> <p>5.3.1. リージョン大会において選出された、各々異なったカウンスルに属する3名の正会員によって構成される。選出された指名委員はリージョン大会に続く次年度に活動する。もし欠員が生じた場合は次点者を繰り上げる。……指名委員候補者は原則としてすべてのカウンスルから最低1名指名されるものとする。</p> <p><リージョン会則 P4></p> <p>5.5. 選挙：</p> <p>5.5.3. 選挙は無記名投票で行われる。役職1名に対し候補者が1名しかいない場合は、議長はその候補者が選出されたことを宣言することができる。</p> <p>5.5.4. 役員はすべて投票数の過半数を得て当選する。……</p>
<p><知っておきたい議事法></p> <p>※動議(意見を述べる事が許されている場合)や修正案は、議長の許可を得て提出者が最初に意見を述べることができます。また発言する時には、最初にクラブ名を名乗り、「この修正案に賛成です」「この修正案に反対です」「この修正案に修正の動議を提出します」と立場をはっきり伝えてから、内容やその提出理由を説明します。</p> <p>※委員会への付託の動議など いろいろな意見を聞いても賛成か反対か判断が難しくもう少し調査してほしいと思える場合には「委員会に付託」の動議を提出できます。またより良くするために修正の動議を提出することも考えてみましょう。</p> <p>※決議案・修正案の採択の票数について 会則修正案は、事前通告と2/3で採択されます。また、その修正は過半数で修正されますが、事前通告の範囲*を超えてはなりません。事前通告された常規修正案・決議案と、それらの修正は、過半数で採択されます。</p> <p>※棄権の票 棄権の票は、「ごみ」として無視されます。</p>	<p>※事前通告の範囲の説明 夢クラブ会則 「クラブ会費は5000円とする」 ☆上記、夢クラブの会則の会費の項に「5000円削除して7000円を挿入する」という会則修正案Aが提出されていた場合、</p> <p>第一修正でその修正案Aの文案の7000円を、6000円に変えることは可能ですが、</p> <p>○「7000円を削除して6000円を挿入する」 7000円を8000円に上げる第一修正をすることは事前通告の範囲を超えるため不可能です。</p> <p>×「7000円を削除して8000円を挿入する」</p> <p>☆またその6000円に変える第一修正の動議が可決されたとしても、会則修正案Aの案文が「5000円を削除して6000円を挿入する」と変更されただけで、7000円の箇所には6000円を入れた会則修正案Aが可決されたことにはなりません。</p> <p>「5000円を削除して6000円を挿入する」と修正した会則修正案Aを審議して2/3の賛成で、初めて会則が変更されたこととなります。</p> <p>※可決否決と棄権票について 例えば会則修正案の2/3の採決の場合、反対がA票であれば、最低賛成がA×2票以上あれば、棄権票が何票あろうとも可決となります。 決議案や常規修正案や修正案の修正動議は過半数なので反対B票であれば、賛成票がB+1票以上で可決となります。</p>

第28回日本リージョン年次大会申込要領

会員は、

「リージョン大会申込書（会員用およびゲスト用）」「宿泊申込書」は、何れもリージョンメール第6号（1月号）に掲載していますので、必要事項を記入して、クラブ登録担当者（会計、CLOなどメールのできる方をクラブで決める）に提出してください。

1. 役職名には次の役職のみ記入してください。
リージョン役員、リージョン常任委員長、リージョン特別委員長、リージョン元会長、各レベル会長リージョン派遣員および派遣員代理
2. ゲストの方で晩餐会と茂木健一郎氏講演のみの参加の方は、参加費は不要です。
3. TPPは年次大会においては、英語部門のみです。ワークショップと合わせて第1希望と第2希望をご記入下さい。（TPPの日本語は7月1日のCMTのときに行われます）
4. 欠席の方（賜暇会員を含む）は、欠席協力金をお願いします。
5. 代金（宿泊は各自で支払う）は申込書と一緒に、クラブ登録担当者へ提出してください。
6. 取り消しや追加等の変更は速やかにクラブ登録担当者へ申し出てください。
但し、2010年4月25日（日）以降の取り消しは返金できません。
7. 重複会員はITC会費を納めているクラブから登録してください。

クラブ登録担当者は、

リージョンメール第7号（2月号）をご覧ください、申し込み手順に従ってください。

1. 2010年3月28日（日）迄に指定された宛先（登録、宿泊、観光）に申し込んでください。
2. 申し込みの追加、取り消しの締切は2010年4月25日（日）です。変更のないクラブも「変更無し」のメールを送信してください。
3. 登録申込金は登録後2010年4月26日（月）～30日（金）の間に大会会計へ送金し、送金送り状もメール送信してください。
(注) 観光に関しては、申込、支払とも各自で直接JTBをお願いします。(リージョンメール第6号参照)
(登録委員長：堤 其美子)

宿泊申込（クラブ登録担当者へ提出）

ホテル

部屋タイプ		S 1	T 1	T 2	備考
ホテル名&番号		シングル	ツイン 1名1室	ツイン 2名1室	・1泊1人分の料金 ・料金は、朝食・税サービス料込み ・ご希望に添えない場合があります こと、ご了承下さいませ。
1	大山口イダルホテル		9,600円	7,500円	
2	米子全日空ホテル	9,600円	13,650円	8,600円	
3	ホテルハーベストイン米子	7,800円	10,500円	6,800円	
4	米子ワシントンプラザ	7,800円	10,500円	6,800円	
5	ホテルサンルート米子	7,800円	10,500円	6,800円	
6	皆生ホテル	—	8,075円	—	
7	〃 …海が見える部屋	—	9,075円	7,500円	

旅館

部屋タイプ		T 1	T 2	T 3	備考
旅館名&番号		シングル 1名1室	ツイン 2名1室	1室 3～4名	・料金は、夕食&朝食・ 税サービス料込み
8	華水亭	—	20,000円	18,000円	
9	皆生つるや	—	18,000円	15,000円	

1. ホテル・旅館名、宿泊費は上記の通りです（詳細はウェブサイトに掲載）。
宿泊費お支払いは、各自がチェックアウト時をお願いします。
2. 晩餐会終了後、上記宿泊ホテルまでバスでお送りする予定です。
3. 変更締切日の2010年4月25日（日）後の変更（取り消し・追加等）は、各自ホテル・旅館へ直接連絡してください。
4. キャンセル料発生にご注意ください。
宿泊の7～4日前：20%、3～2日：30%、前日50%、当日：100%となります。
5. チェックイン15：00、チェックアウト10：00です。

(宿泊委員長：原田かおる)

お越しください 山陰へ！

豊かな大自然と歴史を感じさせる山陰路を存分に堪能していただきたく、盛りだくさんの観光プランを企画いたしました。米子から松江、出雲へ。また、米子から倉吉、鳥取へ。たくさんの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※申込、支払は各自直接JTBへお願いします。
詳しくは、リージョンメール第6号およびウェブサイトをご覧ください。

プランA (大会前)

名園・名画観賞から妖怪の町へ《13,000円》

日時：5月24日（月）正午 出発
行程：JR米子駅⇒さぎの湯温泉『さぎの湯荘』にて昼食⇒足立美術館⇒水木しげる記念館・水木しげるロード散策⇒米子市内（17：30）

5年連続世界No.1の日本庭園と近代日本画の絶妙な調和が織りなす美術館でお庭と絵画を鑑賞していただき、その後は、一変して妖怪の町境港へご案内いたします。鬼太郎や鼠小僧、猫娘などの妖怪ワールドをお楽しみください。（最少催行人数20名）



プランB (大会後)

西から東へ鳥取横断の旅《13,500円》

日時：5月27日（木）午前8時30分 出発
行程：米子全日空ホテル⇒とっとり花回廊⇒車窓から名峰大山⇒三徳山・投入堂⇒三朝温泉『依山楼岩崎』にて昼食⇒鳥取砂丘⇒鳥取空港（16：20頃）・JR鳥取駅（16：40頃）

日本初の屋根付き展望回廊を持つ日本最大級のフラワーパークを散策し、伯耆富士といわれる大山を経由し倉吉方面へ。そして世界遺産へ登録を申請している、なんとも不思議な投入堂へ。その後、いよいよ、あの壮大で雄大な砂丘へご案内いたします。（最少催行人数20名）



プランC (大会後)

古代出雲と城下町松江の旅《15,000円》

日時：5月27日（木）午前8時30分 出発
行程：米子全日空ホテル⇒足立美術館⇒堀川めぐり⇒松江城⇒皆美館（松江）にて昼食⇒出雲大社・古代出雲歴史博物館⇒出雲空港（16：30頃）・JR出雲市駅（17：00頃）

横山大観の作品のコレクションで有名な足立美術館をあとにし、松江城のお濠を遊覧します。その後、縁結びで有名な出雲大社を参拝いたしますが現在は平成の大遷宮のため工事中でお社全景は拝観できません。しかし、内部を拝観させていただけるよう交渉中です。（最少催行人数20名）



観光へのご質問はお気軽にお尋ねください。
観光委員長 森 俊子：TEL & FAX 0859 - 44 - 8602
E-mail morimama@chukai.ne.jp

第28回日本リージョン年次大会 準備委員会名簿

大会コーディネーター 山本陽子
コ・コーディネーター 野津寛美

委員会	委員長(クラブ)	委員(クラブ)		
大会会計	浜田一恵(米子)	☆柴田久実子(米子)	住田実寧子(米子)	西尾美智子(出雲)
登録	堤 其美子(千里)	☆小酒萬喜子(米マ)		
食事	清水典子(米マ)	☆生和陽子(米子)	野間美津江(米子)	加松有紀子(松江)
		大津理恵(倉吉)	竹川奈保子(米マ)	渡部 緑(出雲)
		川口眞佐子(砂丘)		
宿泊	原田かおる(米マ)	☆山口史子(出雲)		
会場・備品	三保聖論子(米マ)	☆長石啓子(鳥取)	野坂万里江(米子)	勝部真理(松江)
		前田淳子(倉吉)	遠藤玲子(出雲)	平尾静代(砂丘)
		河野千恵(砂丘)		
デコレーション	小林美智子(米マ)	☆仁科悦子(米マ)	谷田恵美子(米子)	山崎洋子(米マ)
		竹田初美(出雲)		
キット (名札・リボン)	井上寿子(出雲)	☆布野泰子(出雲)	八百谷和子(鳥取)	都田玲子(米子)
		小徳浩子(米マ)	景山良子(出雲)	
儀典	加藤久美子(鳥取)	☆西尾琉璃子(鳥取)	深澤志津子(鳥取)	真嶋淑子(鳥取)
		太田千世子(鳥取)	問朝美(米子)	又賀敬子(松江)
		尾崎千鶴(倉吉)	野口美智枝(倉吉)	
VIP接待	竹内ひとみ(鳥取)	☆小倉恵子(倉吉)	坂口總子(米子)	溝口さち子(松江)
		田部陽子(松江)	廣田富子(砂丘)	石破佳子(砂丘)
ホスピタリティ	今岡和子(松江)	☆古満曙美(松江)	坪倉晶子(鳥取)	大久保英子(松江)
		澄田邦江(松江)	竹内澄子(松江)	津田恵子(松江)
		吾郷俊子(出雲)	江角早苗(出雲)	和田節子(出雲)
		吉岡元子(出雲)		
インフォメーション	松下節子(砂丘)	☆河野忍(倉吉)	濱崎恭子(鳥取)	紅花一恵(松江)
		松田和代(倉吉)		
ページ	佐藤睦子(岡山)	☆時光育子(岡山)	五十嵐起久代(岡山)	川崎邦子(岡山)
		六車紀代子(岡山)	村山紀子(岡山)	中田昌子(岡山)
		川上直子(鳥取)	平川眞代(松江)	中本みゆき(倉吉)
		小川乃り子(米マ)	大原奈津子(米マ)	佐藤容子(出雲)
		稲中真知子(砂丘)		
写真	廣田花江(倉吉)	☆藤原いと(平安)	瀧本京子(倉吉)	鷺見和子(米子マ)
広報	田中英子(鳥取)	☆高野美代子(米マ)	頼田恵子(米子)	井田育代(出雲)
観光	森 俊子(米マ)	☆郷原明子(松江)	植木仁美(鳥取)	川島芙美子(松江)
		藤井敦子(倉吉)	吉田知子(倉吉)	河田彩希(米マ)
		玉川孝枝(米マ)	岩井節子(出雲)	岡 滯子(出雲)
受付	繁森明美(岡山)	☆尾崎 翠(砂丘)	小倉千真理(岡山)	佐藤幸枝(岡山)
		浜村恵子(鳥取)	正木美恵子(鳥取)	細田恭子(米子)
		青戸あつ子(松江)	遠澤玲子(松江)	西谷睦子(倉吉)
		山本令子(倉吉)	有和紀久子(米マ)	石見普子(米マ)
		石田豊子(出雲)	下手泰子(出雲)	
エンターテイメント	稲井幾子(倉吉)	☆矢部三保子(砂丘)		
物品販売	勝部芳子(米子)	☆遠藤宏子(米子)		

我々は、リーダーシップとは危機的状況が発生した時に初めて発揮される、一部の人が持つ特別な資質だと思っています。突然、周囲の人を鼓舞し状況を改革するリーダーが登場してくるのを見えます。しかし、専門家は、我々はリーダーとして生まれてくるのではないと言います。リーダーシップとは、何なのでしょう？ リーダーには、何が必要なのでしょうか？

<リーダーシップとは何か？>

リーダーシップを発揮して、リーダーは、なるだけ多くの人に成長の機会を与え、グループの繁栄を促進し、誤解と不公平を無くし、個人的な栄誉を求めずに奉仕をします。

リーダーシップとは、リーダーがすべてを計画しすべての仕事を成し遂げることを意味しているものではありません。リーダーシップとは、ゴールに向けてのプロジェクトを組織化する能力を持つことです。すべて人の努力を協調させ、成功裏にコーディネートができる事を意味します。

リーダーシップの手法は、「観察し-考え-実行し-特定の方式を作る」ことにより、習得されます。ITCの各レベルは、有能なリーダーになるために多くの機会を与えます。

リーダーシップは、本質的にはプロセスです。行動の過程なのです。リーダーとは、そのプロセスを用いて、他の人に行動を起こさせるような気持ちにさせる人です。

<成功する優秀なリーダーに必要なものは？>

関与 Involvement

リーダーは、かかわらなくてはなりません。グループの活動の外にはいけないのです。その場にいれば、リーダーは意見を述べるでしょうし、仲間の意見を聞くでしょう。

自負心 self-esteem

リーダーは成長しつづけ、みんなに影響を与える自分の能力を信じなければなりません。不安だったり自分の能力に自信がもてなければ、他の人を導くことは不可能です。

挑戦 Challenge

リーダーは、チャレンジします。そして状況を素早く判断します。ある時は、はっきりと指示を出し、他の場合には忍耐強く導きます。状況により、どちらも効果があります。

グループの思い Group Expectations

グループの考えはリーダーに大きな影響を与えます。グループの思いを共に成し遂げることは、リーダーの達成感を深めてくれます。

<リーダーシップについて、次の事を覚えておきましょう>

- * リーダーシップの知識は、実行して初めて価値が出てくるものです。多くのリーダーは、知識はあるものの、実行段階でそれを無視してしまいます。
- * 違った場面で、違った人たちに対しては、異なったタイプのリーダーシップが要求されます。有能なリーダーは柔軟であり、臨機応変にリーダーシップのスタイルを変えます。
- * どのような場面で行動するにしても、リーダーの人柄が重要になってきます。
多くの人は、温かみがあり、社交的で、思いやりのあるリーダーにより、よく導かれます。公平で、決断力があり、他の人の事をよく考え、相手の気持ちが理解できるという要素は、すべてのリーダーにとって必須のものです。
- * 影響力のあるリーダーは、「計画を立て-伝達し-動機を与え-再検討し-評価」します。
プロジェクトが完成した時には、リーダーは仲間と共に喜びと成果を分かち合います。

簡単に言えば、良いリーダーシップとは、良い人間関係を意味するのです。

祝

チャーター

ITC のランドマークになることを目指して 徳島に眉山クラブ誕生！

2010年1月27日、四国・徳島に、日本リージョン83番目の「眉山クラブ」が誕生した。日本リージョンでは初めて認証状がITC会長から直接初代クラブ会長に授与されるといううれしい一幕もあり、チャーター式典は華やかに、厳かに催された。



ITC眉山クラブ 役員就任式並びに認証状授与式 平成22年1月27日 於阿波観光ホテル

式典は、前期から今期にかけて増設に深く携われ、現在は組織運営研究委員長としてご活躍の坂口正子会員の進行で始まった。役員就任式の冒頭で、インストラングオフィサーの大野三恵子前日本リージョン会長が「私は大人の学校のようなITCで多くの素晴らしい方に出会い、たくさんの知恵と喜びを頂きました。皆さまにもこの喜びを味わってほしいと願い、就任式のテーマをハーモニーとしました」と話され、会場の共感を呼んだ。

小八木利子カウンスル No.5 会長からギャベル贈呈後、平田真弓眉山クラブ初代会長の就任の挨拶。「どんなに美しく装っても、おいしいものをいただいても、心が満たされなければ内面から輝くことはできません。言葉はもちろん、笑顔と笑顔でコミュニケーションが取れるように、ITCで学びたいと願っています」と、クラブ設立の思いを語った。

マーガレット・サザランド ITC 会長から認証状、岡崎祥子日本リージョン会長からバナー、秦野順子日本リージョン第一副会長からマスターマニュアルが授与され、高橋和子前リージョン PREM 委員長が眉山クラブのメンバーを紹介された。そして来賓の祝辞、祝電披露に続き、泉和子国際特別任命役員日本代表による乾杯の音頭で祝宴が始まった。

午後は石部法子会員（眉山）のインスピレーションの後、プログラムがスタート。プログラムリーダーを務めたのは東條千恵会員（眉山）。平田雅男大塚国際美術館 学芸室室長の講演と眉山クラブ会員による美のプロムナード。芸術とスピーチのコラボレーションが繰り返され、新会員の豊かな個性を引き出した素晴らしい構成だった、

今日の話では、高山敦子会員（淡路・北摂・イースト神戸）、皆川迪子会員（ひろしま）、西坂宜枝会員（京都）からお祝いのスピーチが贈られた。高橋信子カウンスル No.5 増設委員長の謝辞、山路信子会員（眉山）のクロージングソートに続き、最後に万感の思いがこみ上げの中で閉会の挨拶をする平田会長の姿が印象的だった。

地域社会のリーダー養成へ ITC眉山ク 発足

徳島市で式典

地域社会のリーダーを養成する国際的な組織「ITC眉山クラブ」が、徳島市で発足した。約210人が出席し、発足式が27日、徳島市内の阿波観光ホテルであった。式典では、マーガレット・サザランド ITC 会長から認証状が授与された。平田真弓眉山クラブ初代会長の就任の挨拶が、眉山クラブのメンバーを紹介された。そして来賓の祝辞、祝電披露に続き、泉和子国際特別任命役員日本代表による乾杯の音頭で祝宴が始まった。

眉山クラブは全国83番目で、県内では徳島クラブ、阿波クラブに続いて3番目。会員は30人で、上手な話し方や聴き方の訓練を行う。平田会長以外の役員は次の皆さん。
第一副会長 板谷京子
第二副会長 宮本和代
書記 今出知子
計 早川由美
副計 坂本千恵
副副計 四宮佐江子

2010年1月28日付 徳島新聞

おめでとうございます



ITC 会長
マーガレット・サザランド

来賓の皆さま、リージョン会長 祥子さん、眉山クラブ会長 真弓さん、そして、眉山クラブ会員の皆さま、日本リージョン会員の皆さま。

本日、こちらに伺い国際役員会のメンバーからお慶びを申し上げることができ、大変うれしく思っております。私たちは、皆さま方がチャーターされたことをお祝い致します。そしてこれから先、学びやコミュニケーション技術の上達、国際組織のメンバーになる喜びにおいて、たくさんの幸せに巡り会えることを願います。

今回は4度目の日本訪問です。私は何とか訪問できる口実を見つけられないか、とっていると認めざるを得ませんが、ちょうど他に何もしなければならぬことがない時にチャーター式典がある、と聞いた時には、旅行代理店に電話をしていました。

先週、やはり私たちのディビジョンですが、もう1つのクラブのチャーター式典に出席しました。スリランカの国コロンボのアユボワンクラブでした。このクラブは、とても長い期間泉さんの援助を得てきているので、日本リージョンとは強い絆で結ばれています。日本でいう家族の絆のようなものです。

眉山クラブ会員の皆さま、私たちのお仲間によろこそ。あなた方は会員としての利益を享受し、今やこの特別な絆を分かち合う人々が世界中にいるということが分かる、と私は信じます。日本リージョンの主催で開催され、私をはじめ、他の役員会のメンバーも非常に楽しみにしております2010年10月のインターナショナル トレーニング ウィークエンドに皆さまがご出席できますように…。

日本リージョンの会員が日本語だけではなく、英語ででもワークショップを行う手腕を見せてくれる時、私は誇りを持って見守ります。かつて日系人^{*1}の国際会長がおりましたし、泉さんはディビジョンIV^{*2}の代表として2度国際役員会にいました。日本には泉さん、小菅さんの2人のフェローオブITCがいますし、何人ものショートコースのトレーナーに認証された人たちがいます。これらはすべて、新入会員としてあなた方が目指すことなのです。が、何も1人でなくてもいいのです。私たちメンバーがあなた方を手伝い、指導し、個人的なコミュニケーション技術の目標を成し遂げる手伝いをします。

あなた方は地球を回って繋がる素晴らしい学習の輪の中の1人なのです。世界の多方面の方と近づきになり、お役についてアイデアを求め、それに何よりもあなた方のクラブ、カウンスル、リージョンを楽しんでください。私は、残る任期中も、終えた後も、眉山クラブの発展を見守るのを楽しみにしております。

ありがとう。

*1 日系人のITC会長…Ai Yokota 元ITC会長 1977 - 78

*2 ディビジョンIVには、日本・オーストラリア・ニュージーランドなどが含まれる。サザランドITC会長はオーストラリアリージョンに所属。タスマニア在住

編集委員会から……紙面の関係で日本語の祝辞のみ掲載しました。英語版を読みたい方は編集委員会まで。

International Training Weekend の プログラム予定表の概略のお知らせ

International Training Weekend

2010年10月22日（金）～24日（日）神戸ポートピアホテル

コーディネーター 泉 和子

Training Weekend 会合の日本開催の年が幕を開けました。会場から遠方でもメール通信でできることなら何かお手伝いをと、また国際に関わりたいからぜひと、次々にお力添えのお申し出を下さる方々を委員に加えて、20部署の準備委員会が活動を開始しました。1月26日にはマーガレット サザランド国際会長をお迎えして準備委員会を開催し「会合運営の簡素化」と「役立つ研修の実践」の方針を定め、めったに直接受講できない国際的なプログラム内容を日英両語で学べるよう、またその知識がクラブにたくさん還元されるよう準備することに意見が一致しました。研修のすべてに出席するわけにはゆかない同時進行型ですので、実践されたワークショップの内容を、詳細にとまではゆかなくても、日本語でCD化し後刻販売することも考えています。今回は会合の時間的予定表のみの掲載ですが、次回はワークショップの詳細を発表します。変更が生じる場合がありますので、今後 From the Boardroom や日本リージョンメールにご注意ください。なお登録申し込み要領は、3月10日国内外同時発信でお知らせします。

10月22日（金）13:00 登録

14:00	フェローオブ ITC 研修
18:00	オープニング
18:30	ウエルカムディナー

10月23日（土）09:00 登録

09.30	ワークショップ # 1、# 2、# 3、# 4、# 5	同時進行	
11:00	ティーブレイク	この間日本文化のミニワークショップ予定	
11.30	ワークショップ # 6、# 7、# 8、# 9、# 10	同時進行	
13:00	ランチ		
14:00	プレナリースピーチ (全体会合)	15:00	ティーブレイク
15.15	プレナリーワークショップ	16:45	ティーブレイク
17:00	ディベート	18:00	休憩
18.45	キャッシュバー	19:00	ディナー、エンターテイメント～21:00

10月24日（日）

08.30	ワークショップ# 11、# 12、# 13、# 14、# 15	同時進行
10:00	ティーブレイク	
10.30	プレナリーセッション、プレナリーワークショップ	同時進行
12:00	クロージングイベント	
12.30	閉会	昼食は自由申込み

Sri Lanka を旅して — AYUBOWAN CLUB 誕生の感動！



アユボワンクラブチャーター式典
スリランカ コロンボ ゴールフェイス ホテルにて。
2010年1月12日



コロンボミュージアムを見学して。
左端がアユボワンクラブ会長の
ジャナカ ランジャナさん。
2010年1月13日

国際特別任命役員日本代表 泉 和子

このたび、私が国際役員副会長当時から手がけていたスリランカでのクラブの増設が、青山クラブのLadさんの手助けを借りてやっと完了しました。リージョンもカウンスルも近隣に無い、国際ディビジョンIVに属す無所属クラブです。明るい将来を夢見るようなピチピチとした大学生ばかりが集うアユボワンクラブのチャーター式典で、インストラリングオフィサーを務め終えた時、海を越えて言葉の壁を乗り越えて増設完成にこぎつけたことに、私は深い感動を覚えました。会員たちは皆大学生で、早くから他国に留学し将来の大いなる夢や希望を持った有能な青年たちです。急な試験のために12名全員は式典に出席できなかったのですが、はるばるオーストラリアからご臨席下さった国際会長と私は、若い彼らに、人として一生勉強しなければならない「コミュニケーション力」と「リーダーシップ精神」と「正しい評価」と「話し方の作法」を、この組織からいくら吸収してもし過ぎることはない、口々に話してきました。彼らは熱心に聴いてくれました。

アユボワンクラブの誕生を記念して、恵まれない子供たちの施設を訪れ、親のように幼児と戯れドネーションをする彼らの姿を見て、他人をおもんばかることができる、そしてエネルギッシュな会員の集うこのクラブの誕生に携わった役得を、私はひしひしと感じました。

スリランカの鉱山から発掘される岩石は幾度も磨かれて、きらりと光る宝石となって輝きます。アユボワンクラブの青年もITCで切磋琢磨され、将来はきらりと光る会員となってITCを支え、自国の繁栄に寄与し、世界の前進に貢献してくれることを願って、実り多かったスリランカの旅を終えました。

羅針盤

ITC の創設者

アーネステイン・ホワイト女史の志



編集委員会

ITC は、女性が社会に進出し、自分の考えをきちんと主張する時代がやって来ることを予見したアーネステイン・ホワイト女史の指導の下、1938年にアメリカ合衆国・サンフランシスコで設立された。今号の「羅針盤」では、ITCの歴史を紐解きながら、創設から70年以上が経過した今も色あせることなく、私たちの学びの原点であり続ける「ホワイト女史の志」を思い起こし、「ITCで学ぶ意味」を改めて考えてみたい。

ホワイト女史は1904年にイタリアのトスカーニ地方に生まれました。新天地を求めて一足先にアメリカ合衆国に移住していた父親と一緒に暮らすため、1909年、母、姉と共に合衆国へ渡り、一家はカリフォルニア州ソノマにある豊かな共同農場に落ち着くことができました。ホワイト女史は地元のカレッジを卒業後、サンフランシスコへ引っ越し、秘書やモデルとして働き、劇団の花形女優として活躍したこともありました。黒髪のラテン系美人で、知的でチャーミングで、清楚な印象を与える女性だったようです。

1939年に開催された第1回ITC大会のスピーチで、ホワイト女史は「グループの進歩はその中の個々のメンバーの発展と進歩の集計であり、またグループの成長は個々のメンバーの向上を促します」と語っています。ITCは、このホワイト女史の信条をベースに、リーダーシップやコミュニケーション能力の向上のために、訓練・開発の場を高いレベルで提供する組織で、会員はさまざまな役割を経験しながら、能力を身につけていきます。ですから何もしないでは何年経っても、個人としても組織としても成長はありません。さらに言えば、組織の中で、会員同士が互いに恩恵や刺激を受けながら社会性を身に付け、自立していく、その過程が自己啓発なのです。

この組織が創設された時、ITCは「インターナショナル トーストミストレス クラブ」の略称でした。1984年の第43回ITC大会で、派遣員の投票により、組織の名称「インターナショナル トレーニング イン コミュニケーション」が採択されたのです。では、設立当初の「インターナショナル トーストミストレス クラブ」はどんなきっかけで誕生したのでしょうか。

当時、サンフランシスコに「トースト マスターズクラブ」という男性ばかりの組織がありました。ある日、「ご婦人の夕べ」と題して開かれた例会に会員の奥さま方が招かれました。その中の一人、YWCAの事務局長をしていた女性が「私たちもこのような組織をつくりませんか」と提案したのです。ホワイト女史を含む7人の婦人たちは

この提案に賛同し、即座に行動を開始しました。そして3年後の1938年、「インターナショナル トーストミストレス クラブ」が正式に組織されることになったのです。その時、「トースト マスターズ クラブ」の設立者が「国際的な組織に下さい」と助言したとおり、ITCは海外にも広く発展していきました。ちなみにホワイト女史の夫は「トースト マスターズ クラブ」の会員で、トーストミストレス クラブの設立に大いに力を貸してくれました。

ホワイト女史たちは、初期の例会ではリーダーズダイジェストや新聞からスピーチの材料を探したり、旅行の経験話を話したり、ブックレビューを繰り返したりしていましたが、そのうち議事法を学んだり、スピーチの構成のレッスンを受けるようになりました。さらに、スピーチに対して建設的な批評の必要性を感じ、人間関係に危険をはらむことを案じながらも、評価を受け入れることにしていきました。ITCのほかならない特徴の一つである“評価”はこの時点ですでに導入されていたのです。行う側にとっても、受け入れる側にとっても勇気を必要とする“評価”ですが、「ITCの学びの質の高さは“評価”があるからこそ」と言っても、過言ではありません。

ITCの基本理念は、「口頭表現の技術と指導力の向上を目指し、責任を持って社会に貢献する」という一貫したものでしたから、人々に支持され、組織は大きく成長していきました。ホワイト女史の予見はまさに当たったのです。

設立から1年後、最初の大きな大会が開かれるまでに、アメリカ合衆国で主に中西部にかけて20ものクラブが次々に設立、登録されました。それから8年後にカナダで、その2年後にスコットランドで最初のクラブが生まれ、以後、オーストラリア、ニュージーランド、アフリカなど世界の各地に増え続けていきました。ITCのハイライトとも言えるスピーチコンテストは第4回年次大会からスタートしています。

日本におけるITCは1949年に名古屋から始まりました。当時の名古屋には、米軍第5空軍司令部本部が駐屯していて、その空軍将校のご夫人たちによって初めてつくられたのです。その後、1965年に阪神クラブが設立されると、次々とクラブが誕生していきました。今年1月、四国・徳島に「眉山クラブ」が誕生しましたから、現在は83のクラブが活動しています。

ホワイト女史は、第一回大会の演説の最後で次のように述べています。「私たちは進歩の渦の中で、多少その広大さにおののきながらも、“偉大な到達への出発点に立っております。しかし、私たちはすでにトーストミストレスとしての経験より得た勇気と確信と自信とを持って前進いたします」。ホワイト女史が設立時に思い描いた“到達点”とはどんなものだったのでしょうか。学べば学ぶほど、到達点が遠のいくように思えるくらい、ホワイト女史の志は高く、奥深いものを感じられます。

さて、ホワイト女史の素顔、深い思想を今一度思い起こしていただくことができましたでしょうか。さらに深くITCを理解し、一人でも多くの人に伝え、共に末長く学び続けたいものです。

参考資料：日本リージョン教育特集「創設者のメッセージ」
「ビジョンを持った女性」Researched by June Robinson 加藤啓子訳
和歌山増設説明会資料 カウンシル No.5 第15期 増設委員会
ITC マガジン 1980年、日本ITCの起源（山本尚作成）
安芸クラブ 2009年10月例会教育資料

特別寄稿

ほんとうの日本「山陰」

松江観光協会観光文化プロデューサー
前 文藝春秋編集局長
高橋一清



大山

東京で42年過ごし、ふるさとの山陰に帰って5年になる。他郷に長らく暮らした者として、改めて郷里を見直す日々を送っている。そして、率直に思う、

「これほど素晴らしいところが、世界のどこにあったらう」

自然に恵まれ、先人たちの積み重ねた歴史と文化がいかに豊かであるか。いま、この山陰の地に住むよろこびと誇りを感じている。

自然の恵みをうけて

清らかで大きな自然につつまれて暮らす安らぎは、何ものにもかえがたい。大山は北西方向にある米子や美保関から望むと、長く裾野をのばし富士山にたとえられる円錐形の姿をしているが、標高1729メートルの剣ヶ峰を最高峰にして多数の峰が連なってそびえ、山容は複雑である。南北両面は岩壁がそそり立ち、雄々しい。眺める場所で表情の違う大山であるが、麓の森は深く、生きものは多種多様。西日本最大規模のブナの林の、新緑と紅葉は息をのむ美しさである。

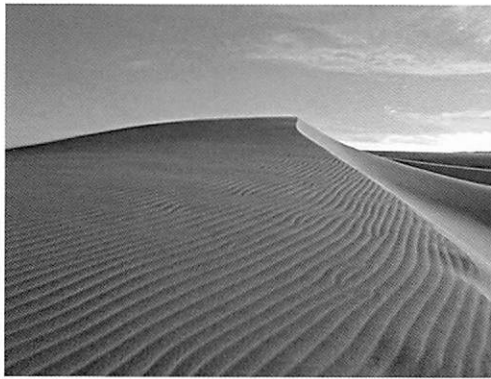
米子から山陰本線の特急に乗り東に60分行くと「鳥取砂丘」がある。東西16キロメートル、南北2.4キロメートル、千代川の流砂と大山の火山灰と風が作った日本で最も大きい砂の丘である。吹く風が形を作る風紋も砂が流れ落ち形成される砂簾も刻々に姿を変える。砂漠と違って、表面は乾いていても下には湿った砂があり、時には窪地に水がたまる。これにより花が咲き、

虫も棲みつく。砂丘では雄大な砂の流れから小さな生きもののいのちの営みまで、大自然の神秘に触れる。

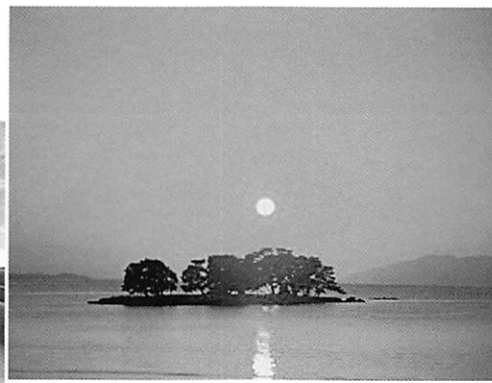
米子から特急列車に乗り西へ20分。そこが松江である。この町の宍道湖の夕日は、人々を魅了してやまないが、それを文章に書いたのは120年前に松江に来たラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が最初である。ハーンの名文によって宍道湖の夕日は一躍有名になった。湖の西の果てから一条の光の筋が差し、太陽は没す。そして、残光が西の空を燃やし、雲を照らして、人々を、松江の町を淡い紅色につつまむ。荘厳な夕陽、これはまさに神の御業である。

季節ごとの山の幸、野の幸、海の幸は豊富である。取れ立ての魚介類を食べることができ、冷凍物を口にすることはほとんどない。「お刺身が、こんなに甘いものとは知らなかった」と作家の佐藤愛子さん。新鮮な魚には上品な甘味があるのだ。

山陰のごちそうはカニ料理。ズワイガニを当地では「松葉ガニ」という。これは冬限定のものだが、隠岐の島と島根半島間の海域で、暖流と寒流が出会い、魚は1年を通して豊富である。また、日本海、中海、宍道湖で、水中の塩分が異なり、棲む魚介類も変る。汽水湖の宍道湖で獲れるシラウオ、コイ、ウナギ、アマサギ、スズキ、モロゲエビ、シジミ、これらを「宍道湖七珍」と称している。シジミの漁獲高は全国の45パーセントを占め、朝霧の中でのシジミ漁は松江ならではの朝の景色である。



鳥取砂丘



宍道湖



出雲大社

豊かな歴史、その継承

自然に恵まれた山陰には、古くから人が住み、固有の文化を築き上げた。鳥根には後期旧石器時代の人類の痕跡が60箇所もあることが分かっている。縄文時代の遺跡も鳥根半島、宍道湖畔の随所にあつて、朝鮮半島系の土器や糶の痕が付いた土器が出土するから、大陸と交流し、稲作もしていたと考えられる。

弥生時代前期のものといわれる^{ひかわちやう}斐川町の^{こうじん}荒神谷遺跡から、昭和59(1984)年に358本の銅剣が出土した。それから12年後の平成8(1996)年、近くの^{か もいわくら}加茂岩倉遺跡から39個の銅鐸が出土した。1箇所からこれほど大量に発見された例はなく、こうしたことから、かつてこの地に一大勢力を持つ国のあったことが疑いようもないこととなった。そして、さらに大山の麓で約2000年前の弥生時代後期の^{むきばんた}妻木晩田遺跡が発見された。建物跡が900以上、墳丘墓が30以上、出土した鉄器が300以上、その広さは^{よしのがり}吉野ヶ里遺跡の5倍以上。妻木晩田は名実ともに日本最大の弥生遺跡である。こうした発見があつて、1300年前に著された『^{こじき}古事記』の出雲神話を空想の物語といていた人も、今では事実にもとづくもので、山陰に大和に対抗する国があったと言うようになった。

4世紀の頃、山陽の強国であつた^{きび}吉備の軍勢が出雲を攻撃、一部を占領する。そして、6世紀の半ば頃、その吉備を服属させた大和が出雲に攻め込む。しかしこの時、出雲は戦わず国を^{おおくにぬしのみこと}譲る。これは^{くにゆず}大国主命の「国譲り」として『古

事記』に記され、美保神社では「^{あおふしがきしんじ}青柴垣神事」「^{もろたぶねしんじ}諸手船神事」の形となつて伝承されている。戦いを挑む相手に、戦わず国を譲り平和を選んだ民族は人類史上、この出雲のみであろう。

大国主命は「国譲り」の条件に、幽界に隠退し、「^{よみ}黄泉の国」の主宰者になるために、天に高くそびえる宮殿に住まわせて欲しいと言う。これらが叶えられ、建てられたのが出雲大社である。現在の社殿の高さは24メートルだが、平安時代の資料には奈良東大寺の大仏殿よりも高く48メートルはあつたと記述されている。

平安時代、大山は一大霊場であつた。大山寺には3000の僧兵がいた。30キロメートル東の^{みとくさん}三徳山には山の中腹に千年の風雪に耐える^{さんぶつじ}三佛寺の^{なげいれどう}投入堂がある。正本尊の^{おむもんどうきやう}蔵王権現立像は木造蔵王権現としては最古のもの、また境内から出土した中国伝来の^{おうむもんどうきやう}鸚鵡文銅鏡は奈良正倉院御物と類似の品であることが教えるように、ここは都の貴族たちも篤く信仰していた山岳信仰の聖地であつた。

鳥取県の歴史を語る時、^{なわながとし}地元の豪族名和長年を忘れてならない。700年前の鎌倉時代末期、^{こだいこ}隠岐の島を脱出した^{せんじやうざん}後醍醐天皇を大山山系の^{せんじやうざん}船上山に迎え、幕府軍と戦つた。これが天皇政治復活の「^{けんむ}建武の^{しんせい}新政」の始まりである。この動乱の南北朝時代を描く『^{たいへいき}太平記』では、随所に山陰ゆかりの武将が登場する。

江戸時代の鳥取は32万5千石の城下町として栄え、藩主の池田家は12代、238年続いた。^{いなば}因幡、^{ほうき}伯耆の2国を治め、^{くらよし}因幡に藩庁を定めたことから、伯耆には米子と倉吉に城を置いて、

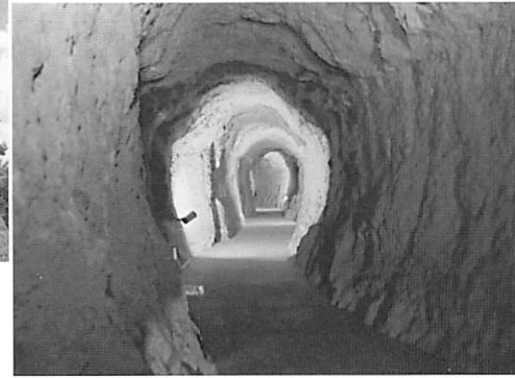
特別寄稿 ほんとうの日本「山陰」
松江観光協会観光文化プロデューサー
前 文藝春秋編集局長
高橋一清



国立高等科学技術研究所庭園



松江城



石見銀山の「龍源寺間歩」

城代家老として荒尾氏が統治した。

島根では、関ヶ原合戦で功のあった堀尾氏が、出雲・隠岐24万石の太守に封じられた。堀尾氏は最初、鎌倉時代以来、出雲の政治文化の中心であった広瀬の富田城に入ったが、戦略的価値の少なくなった山城の上に、出雲・隠岐を統治するには不便と富田城に見切りをつけ、松江に移り城を築いた。ちょうど400年前のことである。堀尾吉晴の築いた五重構造の望楼型天守は、織田信長の安土城、豊臣秀吉の大坂城と同じ様式で、正統な天守の形を受け継いでいる。これを堀尾家は3代、京極家1代、そして松平家は幕末まで10代にわたり居城とした。

風土に育まれた文化

江戸時代、各藩は独自の国づくりにつとめ、固有の文化を築いた。山陰の町も地域の特色を生かした暮らしを営む。多くの町が、高度経済成長による近代化と称して、古い時代のものを破壊したが、山陰はその影響をさほど受けなかったことで、江戸時代に築かれたものが明治、大正を経て昭和に受け継がれ、今日も生かされている。

その一例をあげると昭和2(1927)年夏に、島崎藤村は12日間の山陰旅行をして紀行文『山陰土産』を著しているが、そこに描かれる鳥取、島根の景観にほとんど変りがない。また泊った6軒の宿のうち5軒は、80年後の今日も変わらず営業している。松江の宿であった「皆美館」では、過ごした部屋は「藤村の間」として保存

され、今日も使用されている。

山陰は温泉に恵まれている。奈良時代に著された『出雲国風土記』にも記されている松江市の「玉造温泉」。長寛2(1164)年、源義朝の家臣大久保左馬之祐が三徳山参詣の途中に発見した「三朝温泉」。明治33(1900)年、地元の漁師が海中に湧く湯に気づいたことが始まりという「皆生温泉」。昭和46(1971)年、天然ガス採掘中に掘り当て、方針を変え誕生したのが「松江しんじ湖温泉」。この地は山を崩すと古墳が現われ、地を掘れば温泉が湧くといっている。

変化に富む自然が人々にもたらすものは豊穡で、そして繊細。それが、ものづくりにたずさわる者、またそれを受けとめ使う者の感受性を高めることになった。中世以後は京都から、近世になると江戸から洗練された感覚が絶えず注ぎ込まれ、感性をより鋭敏に、新鮮にしていた。

山陰には失われつつあるが、失ってはならないもの、生活が変わっても持ち続けておきたい古き佳きものがある。それに加えて、風土と長い歴史を経た人々の暮らしから生まれた新しき佳きものが創り出されている。

いいものがわかり、暮らしに使うために求める者がいて作る者も励む。山陰は「和の心、日本の美」を享受できる、稀有な土地と言ってもいいかも知れない。

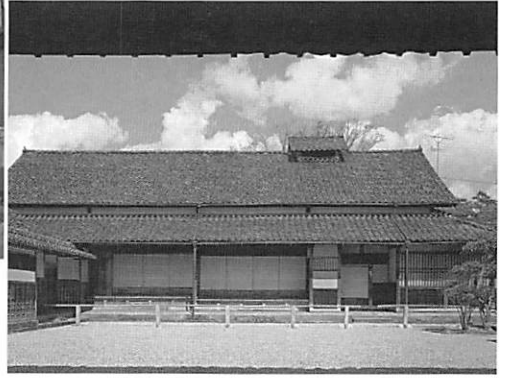
江戸時代、松江藩松平家7代藩主治郷は藩政の改革や財政の立て直しを行う一方で、不味と称し、茶に親しみ形式にとらわれない独自の茶の文化を創出し、茶道史に名を残している。不



西性寺経堂の「鏝絵」



三瓶小豆原埋没林公園



出雲民芸館の「山本家母屋」

味によって生み出され、庶民の手によって育まれた茶の湯の文化は、松江の人々の生活に深く浸透し、普段でも抹茶をたしなみ、菓子をいただく。和菓子の一世帯あたりの購買量は、全国平均の1.5倍。不味好みの「山川」「若草」「菜種の里」のほか、あまたの和菓子が作られる。微妙な違いの甘味を、時と場に合わせ楽しむのも松江の文化といってもいいだろう。

米子から車で南西へ30分ほどの所に「足立美術館」がある。横山大観のコレクションと庭園で知られ、米国専門誌で日本庭園ランキング1位を連続して獲得している。また松江の宍道湖畔の「島根県立美術館」は水をテーマの国内外の作品を収集。ロビーから眺める夕陽も鑑賞の対象と閉館時間を冬期以外は日没後30分としている。

庭園で見落とせないのが、中海に浮ぶ大根島の「由志園」である。日本庭園は回遊式だから親しみもてる。また、園内には1年中牡丹を楽しめる展示室もある。大根島から車で20分走ると境港市の中心部に入る。通りには、この町の出身である漫画家水木しげるが生み出した妖怪たちのブロンズ像が並ぶ。

「ほんとうの日本」山陰

米子から西へ、特急とバスを乗り継ぎ2時間の所に、世界遺産の「石見銀山」がある。16世紀の頃より、ヨーロッパにまでその名が知られた銀山で、公開されている採掘坑「龍源寺間歩」

に入るとノミで削ったあとが当時のままの状態で見ることができる。

銀山の入り口の町、大森に西性寺がある。寺の経堂の壁に鳳凰の「鏝絵」が描かれている。国会議事堂の建設で腕を振るった石見の左官たちが、出稼ぎで留守の間、家族と集落の無事を願って、その伎倆と美的感覚を集中して彫り上げた「鏝絵」は、石見地方の寺院や民家の壁に見ることができる。

「三瓶小豆原埋没林公園」では、地下を大きく円筒型にくり抜き、3500年前の縄文時代の三瓶山噴火の際、火砕流に埋もれた巨木を掘り出し展示している。

予約を入れて、ぜひ見ていただきたいのが出雲市知井宮の「出雲民芸館」である。(TEL 0853-22-6397) 民芸館にある古くからの庶民の道具類、藍木綿の筒描の見学はもとよりだが、館主山本氏の母屋と向い合っていて欲しい。けたはずれの豪農でありながら、いささかの無駄もない、飾りもせず、すべてが直線で構成された力強く質素簡潔なたたずまいである。虚飾をいましめ、趣味的改造など一切しないで、130年余家を守り抜く山本家の志もさることながら、この維持管理のための大工、左官、石工たちの協力である。これこそ、山陰の底力である。大量生産、大量消費の経済とはまったく無縁の生活哲学がここにある。これを見ると、ここには「もうひとつの日本」があるように思えてならない。外国人記者が書いた日本紹介に、山陰を「リアルジャパン (REAL JAPAN・ほんとうの日本)」とあるのを見たことがある。

変更と訂正

第28期リージョン会報第1号の記載内容について、下記の変更と訂正がありましたので、ご確認ください。

- ・ P12 International Training Weekend
の日程
24日(土) → 24日(日)に訂正
- ・ P14 平安クラブ30周年記念例会の日時
4月15日(木) → 4月11日(日)
に変更
- ・ P24 しらさぎクラブの年間テーマ
「今でも → 今までも」に訂正

可能性を信じて

ITC日本リージョンの歴史の一頁を飾る眉山クラブの誕生を心からお祝い申し上げます。

さて戦後、日本人の多くに欠けてしまった大切なものの一つは「歴史観」だと言われています。創設者のアーネスティン・ホワイト女史が何を考えてこの組織を作られたのか。ITCの歴史を学ぶということは、過去を振り返ることではなく、会員の方々が、その折々にどのように未来を切り開いてきたのか、その知恵と勇気に学ぶことだと思います。

ITCの価値観を共有し、ITCの組織・文化を次の世代に伝承するために、会員のお一人ひとりが可能性を信じて、一歩でも質の高いものに挑戦する。そのためのインセンティブな役割が果たせたらと願いつつ、リージョン会報の編集スタッフは取り組んでいます。

第28期編集者 高木彬子

Japan Region **2**

ITC 日本リージョン会報
Vol.28 / No.2

編集・発行：第28期 ITC 日本リージョン
印刷：(株) 広島デザインセンター

ITC Pledge

ITC宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2009-2010

ITC日本リージョン声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.